

農技セ第6510号  
平成27年7月31日

各関係機関長 殿  
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病虫害防除所長  
(公印省略)

平成27年度農作物病虫害発生予察情報について

平成27年度農作物病虫害発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

**平成27年度農作物病虫害発生予察特殊報第1号**

平成27年7月31日  
徳 島 県

- 1 病虫害名 : *Aromia bungii* (アロミア ブンギ)
- 2 作物名 : モモ, ウメ, スモモ
- 3 発生地域 : 県北部のモモ, ウメ, スモモ栽培地域

#### 4 発生概況

##### 1) 発生確認の経過

平成27年7月, 板野郡板野町のモモ園において, カミキリムシ科の成虫が捕獲され, 幹に虫孔(成虫の脱出孔)やフラス(幼虫の糞と木くず)が見られた。

この成虫は形態的特徴により, *Aromia bungii* と同定した。

初発見モモ園を中心に, 県北部(鳴門市, 板野郡)のモモ栽培地域の30園地における本虫の発生を調査したところ, 多量のフラスの排出が見られたのは17園地, 成虫を捕獲したのは7園地であり, 本地域内に広範囲に発生していることを確認した。また, ウメ栽培園地の2園地, スモモ栽培園地の1園地についても, 特徴的なフラスを確認した。被害は老樹や衰弱した樹に多く, 樹幹地際部付近に多量のフラスが見られた。なお, 初発見モモ園付近のサクラ樹でも同様の被害を確認した。

本虫は, 平成25年に愛知県で特殊報が発表されており, 徳島県内で発生を確認したのは今回が初めてである。

##### 2) 形態・生態および被害状況

成虫の体長は28~37mm, 光沢のある黒色を呈する。前胸は前縁と基部を除き明赤色を呈

する。個体により前胸全体が完全に黒色となる。触覚と脚部は暗青灰色。前胸背板には4つの小突起を備え、両側部の突起は側方に突出し目立つ。

中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部などに分布しており、中国北部では1世代に2～3年かかるといわれている。幼虫は4月上中旬に摂食を開始し、5～6月に最も摂食活動が盛んになる。6月下旬頃に蛹化し、成虫は6月下旬から8月上旬に出現する。成虫は7月下旬から幹や樹皮の割れ目に産卵し、8～9日後には卵は孵化する。

海外の報告では、サクラ、カキ、ウメ、モモ、ザクロ、オリーブ、ヤナギ、コナラなど多くの樹種に寄生するとされている。

## 5 防除対策

- 1) 成虫を見つけしだい捕殺する。
- 2) 幼虫食入孔を見つけた場合には針金で刺殺する。
- 3) 成虫の産卵時期（6月下旬から8月上旬）にシュロ繊維やネットを樹幹地際部に巻き付ける。ネットは成虫捕殺効果もある。
- 4) 現在の登録農薬は以下の1剤。ただし、本虫に対する効果は確認されておらず、また使用時期が成虫発生初期であるため、現時点では使用できない。

作物名	適用病害虫雑草名	農薬の種類	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	使用方法	本剤の使用回数
果樹類	カミキリムシ類	ポーベリアブロンニアティ剤	バイオリサ・カミキリ	成虫発生初期	1樹当り1本	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける	-



図1 地際部におけるフラスの排出



図2 樹幹に寄生した成虫



図3 樹幹内より捕獲した幼虫